

平成22年5月17日

西日本弁理士クラブ若手会会員各位

西日本弁理士クラブ若手会
リーダー 吉本 力
担当サブリーダー 南 力

西日本弁理士クラブ若手会主催

知財ディスカッション（企業編）～発明発掘から出願まで～

拝啓 益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は若手会のためにご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、西日本弁理士クラブ若手会では、下記の通り、「発明発掘から出願まで」をテーマとして、パネルディスカッション形式の研修を開催します。

当研修は、西日本弁理士クラブの会員のみならず、西日本弁理士クラブに興味を持っている若手弁理士の方、更にはこれから弁理士を目指す方にも参加して頂きたいと考えております。お近くに興味をお持ちの方がおられましたら、お誘いあわせの上、ご参加頂ければ幸いです。

敬具

記

日程：平成22年 7月24日（土） 15：00～17：45（途中休憩：15分）

場所：日本弁理士会 近畿支部室 4階

定員：50名 ※先着順で定員になり次第締め切らせて頂きます。

受講料：西弁会員：無料／非会員：1000円（当日入会の場合は無料）

※ 受講希望の方は、下欄に必要事項を記入し、7月2日（金）までに、

FAX(06-6312-0501)又はE-mail(minami@creia-pat.com)までご連絡をお願いします。

この研修は、日本弁理士会の継続研修として認定を申請中です。

この研修を修了し、所定の申請をすると2.5単位が認められる予定です。

-----<キリトリ不要>-----

[申込欄] 特許業務法人 クレイア特許事務所 南 力 宛 (FAX：06-6312-0501)

『知財ディスカッション（企業編）～発明発掘から出願まで～』を受講します。

ご氏名：.....(登録番号：.....)

E-mail：.....

会員：クラブ会員 [] / 非会員弁理士→当日入会 [する・しない]

質問事項：

.....
.....
.....

(ご記入いただいた個人情報は当研修の参加者管理目的にのみ使用し、他の目的には使用しません。)

研修の内容

<研修の概要>

「弁理士＝特許事務所」であった一昔前と異なり、現在は、弁理士の活躍の場が企業の知財部にも広がっています。つまり、これからは、企業内弁理士と事務所弁理士とが両輪となって、知財業界の発展を後押ししていかねばなりません。

そこで今回は、企業内弁理士の最も重要な仕事の1つである発明発掘から出願までについて、化学、材料、電機の各分野で御活躍の企業弁理士の先生方をお招きして、パネルディスカッションを開催します。パネリストの先生方には、実際の業務で生じた問題やその解決方法等、貴重な体験談をお話して頂きますので、企業弁理士の方にとっては、明日から使えるヒントが盛りだくさんです。また、事務所弁理士の方にとっても、普段垣間見ることのできない「発明の誕生～事務所への依頼まで」の企業実務の舞台裏を知る絶好のチャンスです。

皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

<パネリスト紹介>

弁理士 富田光治 先生（化学分野）

現在、ナガセケムテックス株式会社に勤務されており、知的財産権分野で約18年ご活躍されています。主に、各研究・開発部署における発明発掘会議の開催、発明者による先行技術調査結果に基づいて出願の要否を判断する業務を担当されています。また、特許出願のみならず、知財管理や知財戦略の立案の業務にも携わっておられます。

弁理士 嶋岡 幹 先生（電子部品・材料分野）

現在、株式会社村田製作所に勤務されており、知的財産権分野で約3年ご活躍されています。主に、電子部品・材料分野において、特許出願業務、他社特許対策業務を担当されています。特に、特許出願業務においては、特許事務所に依頼するだけでなく、自らも特許明細書を作成しておられます。

弁理士 石原広隆 先生（電機分野）

現在、パナソニックエレクトロニクス株式会社勤務されており、知的財産権分野で約3年ご活躍されています。主に、国内及び外国の出願・権利化業務、契約・訴訟関係業務までの業務を幅広く担当されています。また、約12年間の研究開発を経験し、自らも発明者として多数の特許出願を行っておられます。

<コーディネータ紹介>

弁理士 板谷真之 先生

パナソニック電工株式会社の知的財産部に嘱託社員として約2年間勤務された後、現在、板谷国際特許事務所でご活躍されています。企業知財部及び特許事務所の双方での勤務経験を生かして、現在、化学、機械、電機等幅広い分野での出願・権利化業務を担当されています。